

# LECTURE

## 建築論の再出発——戦後日本と濱口隆一

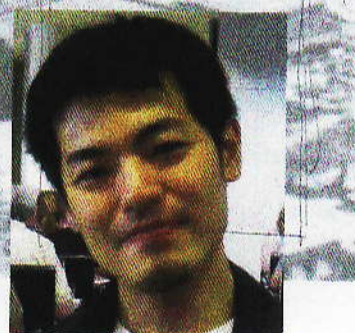
講師：天内大樹

日時：2013年6月27日（木）

16時 開場 16時30分 開演 18時 終演

会場：国士舘大学 世田谷キャンパス  
中央図書館 4階 AVルーム

入場：無料



### 概要

濱口隆一は階級の解放に寄与することを目的とする『ヒューマニズムの建築』という方向性を戦争直後の1947年に主張したことで知られています。しかし今回は戦中の1944年に『新建築』に掲載された濱口の論考「日本国民建築様式の問題」や、50年代に展開された“伝統論争”などから、戦後日本の建築に関する言論が、再出発にあたって何を考えていたかをとりあげます。

以上の事柄は、伊藤ていじ『日本デザイン論』（1966年）や都市デザイン研究体『日本の都市空間』（1963～『建築文化』連載、1968年刊行）などが発表されるにあたっての、いわば準備段階と位置づけられます。建築に関しての語りが人気建築家の紹介にとどまっている現代に、言論の再起動がありうるのかどうか、考えてみたいと思います。

### 問合せ

国士舘大学理工学部建築学系 南研究室

Tel 03-5481-3287 E-mail minami\_ken942@yahoo.co.jp

主催：国士舘大学理工学部建築学系

天内大樹（あまない・だいき）

1980年東京都杉並区出身。

2008年東京大学大学院人文社会系研究科  
（美学芸術学）

博士課程単位取得満期退学。

日本学術振興会特別研究員

（PD、大阪大学）、

東京大学教務補佐員

2012年東京理科大学工学部第二部建築学科  
ポスドクトラル研究員。

美学芸術学／建築思想史。博士（文学）。